

## 進行を考えながら話し合おう～わたしたちの城南小学校～

中心学習材 「つたえよう，楽しい学校生活」「インタビュー」（光村図書3年上）

〈付けたい力〉

◎互いの考えの共通点や相違点を考えながら，進行に沿って話し合う力（話・聞か）

〈単元を貫く言語活動〉

進行に沿ってグループで話し合う。

〈主体的な思考・判断・表現を促す手立て〉

- ・第1次で，昔の城南小学校の様子を聞くことを通して，今との違いに気付き，祖父母参観で今の城南小学校の様子を発表するという目的意識や相手意識を明確にもてるようにする。
- ・第2次で，モデルを基に学級全体でよりよい話合いのイメージをもつことで，それぞれの役割を理解して，進行に沿った話合いができるようにする。

### 1 子どもと単元について

#### (1) 子どもの実態

前単元では，話し手の話題に沿って質問したり感想を話したりする学習を行った。話し手の話題に沿って質問したり感想を話したりする経験を通して，話の中心に気を付けて聞いたり，日常生活から話題を見つけて伝えたいことをはっきりさせて話したりする力を身に付けてきている。また，「話す・聞く」の場を確保するために，朝の会で「トークタイム」を設けてきた。これらの学習や活動を通して，子どもたちは，伝えたいことをはっきりさせて話したり，共感的に話を聞いて積極的に質問や感想を話したりすることができるようになってきている。

しかし，聞き手と話し手が相互に考えを出し合いながら結論を収束させる話合いの経験は不十分であり，考えを羅列したり合意点を見付けてまとめるまでに至らない話合いも多い。また，司会者も順番通りに考えを聞くことに留まることがあり，進行に沿って話し合う力は十分ではない。

#### (2) 学習材について

中心学習材「つたえよう，楽しい学校生活」は，学校生活の中から学校行事など紹介したいことを決め，発表会をするという学習である。発表する内容や方法を定めるために，グループによる話合いの場を設け，発表する内容や方法について決めていく。その際，司会や提案の役割を理解し進行に沿って話し合うことで，メンバーそれぞれの提案が整理され，意見がまとまる話合いができる。また，発表に当たっては，相手やもち時間を意識し，メモ程度のもを見ながら語りかけるように話すことを指導する。こうした学習により，今後の各教科の学習や話合いの場面で，実際に活用することにつながる学習材といえる。

#### (3) 言語活動の特徴と系統

本単元では，「進行に沿って，グループで話し合う」ことを，単元を貫く言語活動として，設定する。以下の特徴を通して，付けたい力の確実な育成を図る。

〈話題〉今の城南小学校の紹介したいこと

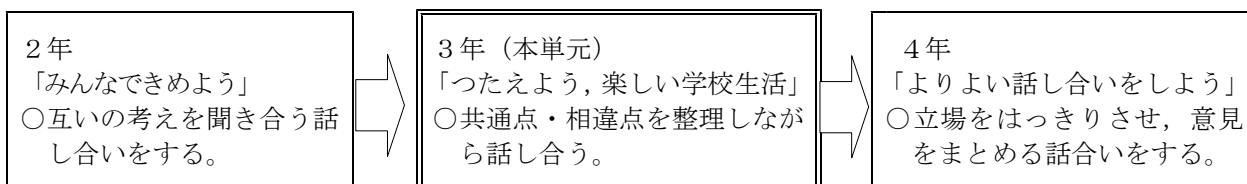
〈形態〉グループ（4人）

〈構成〉①司会者が，意見を整理しながら進行する。  
②参加者が，理由を加えながら筋道を立てて話す。

〈技能〉

司会者	○話題と手順を確かめながら司会をする。 ・まず～について決めます。その後、～を話し合います。 ○何について出された意見か整理したり、目的や条件を確認したりする。 ・△△さんの考えは、～ですね。
参加者	○目的や条件に照らしながら意見を言う。 ・わたしは、～と思います。理由は、～です。 ○友達の意見との共通点・相違点をとらえて意見を言う。 ・それに付け足して～です。

「進行に沿って、話し合う」ことの系統は、以下のとおりである。



(4) 指導に当たって

指導に当たっては、次の三つを大切にする。

一つ目は、「城南小学校の昔と今を比べ、父母や祖父母に今の城南小学校の様子を詳しく紹介する」という活動を設定し、明確な目的意識をもたせることである。そのために、第1次で卒業生である地域の方に昔の様子を教えていただき、昔から続いているものや今と異なるところに気付いたり驚いたりすることで、意欲を喚起させたい。また、紹介する事柄をどのような内容と方法で紹介したらよいか考えることにより、主体的な話し合いが生まれるものと考えている。

二つ目は、司会の役割やよりよい話し合いの進め方を身に付けるようにすることである。そのために、映像による話し合いのモデルを示したり、司会の手引きを参考にさせたりして、司会進行や意見を述べる際の話型を理解できるようにする。そして、それぞれの役割を経験する機会としてロールプレイを行い、話し合いを進めるための力の定着を図る。

三つ目は、話し合いを進める方向性を明確に示すことである。そのために、話し合いの拠りどころとなる目的（おじいさん、おばあさんや地域の方々に、今の城南小学校の様子を紹介する）と、条件（内容・場所・発表の時間）を提示する。また、話し合いの結論のまとめ方について提示して見通しをもたせる。

これらを通して、互いの考えの共通点や相違点を考えながら、進行に沿って話し合う力を高めていきたい。

2 単元の指導目標

- 紹介する内容や方法について進んで話し合い、発表をしようとする。 【関心・意欲・態度】
- ◎発表会で発表する内容や方法について、互いの考えの共通点や相違点を考えながら、進行に沿って話し合うことができる。 【話すこと・聞くことオ】
- 意見や理由を述べる際、司会進行の際に用いる言葉を知り、適切な言葉で話すことが大切であることを意識することができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1) イ (ア)】

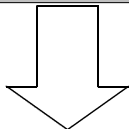
3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
○発表会や紹介する内容や方法について進んで話し合い、発表をしようとしている。	◎発表会で発表する内容や方法について、司会進行の役割を果たしたり、進行に沿って自分の考えを明確にして意見や理由を述べたりしながら、グループで話し合っている。	○意見や理由を述べる際、司会進行の際に用いる言葉を知り、言葉の働きを意識して話したり聞いたりしている。

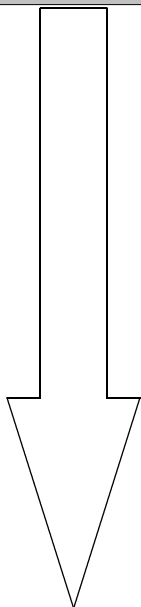
4 学習指導計画（全15時間）

【主な段階】

第1次  
単元の学習について、課題意識と学習の見通しをもつ。（2時間）



第2次  
司会進行の役割や話し合いの進め方を学び、グループで話し合い、発表の準備をする。（11時間）



第3次  
発表会を行い、単元の振り返りをする。（2時間）

【他教科等活用場面】

○司会に沿って話し合い活動を行う。  
(他教科・総合的な学習の時間・学級活動)

【主な学習活動】

- ①昔の城南小学校の様子を聞き、祖父母授業参観で発表会をすることへの目的意識をもつ。
- ②日常の話し合い活動で頑張っている点や課題点を見付け、よりよい話し合いをすることへの課題意識をもち、学習計画を立てる。

〈評価〉

- ①単元のゴールを理解し、話し合いをして発表会をすることへの目的意識をもっている。《発言・ワークシート》
- ②話し合いの仕方を振り返り、よりよい話し合いができるようになるために課題意識をもち、学習計画を立てている。《発言・ワークシート》

- ③自分が紹介したい内容について書き出す。
- ④モデルを通して、よりよい話し合いの仕方について確かめる。
- ⑤⑥モデルのシナリオに沿って、役割に分かれてグループ毎にロールプレイをする。
- ⑦グループ毎に発表会で紹介したい内容について話し合う。（本時）
- ⑧グループ毎に決まった内容に沿って紹介方法を話し合う。
- ⑨インタビューの手順について知る。
- ⑩インタビューをしたり資料を集めたりしながら紹介する内容について調べる。
- ⑪⑫集めた情報を整理し、発表メモを作る。
- ⑬発表の練習をし、助言をし合う。

〈評価〉

- ③自分の紹介したい内容を書き出している。《活動の様子・ワークシート》
- ④司会進行の役割や話し合いの進め方、意見の述べ方やまとめ方を理解している。《活動の様子・ワークシート》
- ⑤⑥話し合いのロールプレイをしている。《活動の様子・ワークシート》
- ⑦紹介する内容について、自分の考えとの共通点や相違点に気を付けて友達のことを聞き、話し合いをしている。《活動の様子・ワークシート》
- ⑧紹介する方法について、自分の考えとの共通点や相違点に気を付けて友達のことを聞き、話し合いをしている。《活動の様子・ワークシート》
- ⑨インタビューの仕方が分かり、インタビューの準備をしている。《活動の様子・ワークシート》
- ⑩インタビューをしたり資料を集めたりしながら紹介する内容について調べている。《活動の様子・ワークシート》
- ⑪⑫集めた情報を整理し、発表メモを作っている。《活動の様子・ワークシート》
- ⑬発表の練習をし、互いに相談し合っている。《活動の様子・ワークシート》

- ⑭祖父母参観日で発表する。
- ⑮単元の学習の振り返りをする。

〈評価〉

- ⑭伝えたいことを効果的に発表している。《活動の様子・ワークシート》
- ⑮単元を通して学んだことや身に付けた力について振り返り、これから生かす場面を考えている。《活動の様子・ワークシート》

【主な手立て】

昔の城南小学校の話聞くことを通して、参観日で今の小学校の様子を発表するという目的意識や相手意識を明確にもてるようにする。

モデルをもとに学級全体でよりよい話し合いのイメージをもつことで、それぞれの役割を理解して、進行に沿った話し合いができるようにする。

発表会を行い、参加者から感想をいただくことによって、身に付いた力を実感できるようにする。また、活用場面を話し合うことにより、活用意識を高める。

5 本時の指導（7／15時）

(1) ねらい

目的や条件に照らし合わせながら互いの考えや理由の共通点や相違点を考え、グループで話し合いをすることができる。

(2) 展開

学習活動	思考を促す発問や指示(◎)と反応例(・) 学習内容	指導の手立て(○)と評価
1 本時の学習課題を確認する。		○学習計画に照らし合わせ、参観日で発表する内容について話し合うことを通して、グループでのよい話し合いの仕方を学ぶ学習であることを確認する。
「わたしたちの城南小学校」で発表する内容について、同じところや違うところを考えながら話し合おう。		
2 本時の学習の見通しをもつ。		○下記のことを確認する。 ・話題 ・発表会の目的と条件 ・意見の述べ方、司会進行の仕方
3 話し合いの役割を確認する。	【話し合いの仕方】 (司会者) 条件に沿って話し合いを進め、ところどころで整理し最後にまとめる。 (提案者) 自分の考えを提案し、他の意見と比べながら聞いて、話し合う。	○司会進行役の児童には、手引き書を用意し、見通しをもって進められるようにする。
4 グループで決めた題材について、紹介する内容を話し合う。	◎目的や条件に合わせて、グループの意見がまとまるように話し合いをしましょう。 ・自分の考えは誰の考えと同じかな。 ・○○さんの考えと似ているけれど、このところは違うな。	○個々の考えが一目で分かり、共通点や相違点を捉えやすくするために、グループごとにボードを準備し、自分の考えを書いた付箋を貼りながら発表させる。  〈評価〉 ・互いに共通点や相違点を意識して、目的や条件に応じて紹介する内容を話し合っている。 ・司会や提案などの役割をしながら、進行に沿って話し合っている。 《話し合いの様子・ワークシート》
5 グループで話し合いの振り返りをする。	◎話し合いが上手くいかないときには、どのようにしたらよいでしょう。 ・話し合いに困ったら、目的や条件を確かめて、より合う方を選べばいいね。	○話し合いが上手く進まないグループには、目的と条件に立ち返らせる。  ○事柄の共通点と相違点や司会の進め方について振り返り、自分たちの話し合いのよさを見付けられるようにする。
6 今日の話合いで決めたことを確認する。	・意見をまとめるのが難しかったけれど、目的や条件により合うものはどれか考えたら、決めやすかった。 ・自分の意見と同じところと違うところを見付けながら、話し合えたよ。	○話し合いの様子でよかったところを褒めたり紹介したりして、よりよい話し合いの仕方に気付くことができるようにする。
7 自己評価をし、振り返りを交流する。		○紹介する内容が決定できていなくても、司会に沿った話し合いができたことやグループ内で互いの意見に耳を傾けられたことを認める。
8 次時の学習内容を確認する。		○次時は、紹介する方法について話し合うことを確認し、見通しをもたせる。